

# 英彦の泉

聖母の騎士学園  
同窓会会報

☎850-0012  
長崎市本河内2-2-2  
TEL095-823-4523  
FAX095-823-4759  
-第21号-

## 同窓会で お待ちしております

同窓会会長  
赤本喜代次



英彦の泉、一年ぶりのご無沙汰でした。皆様お元氣でお暮しの事と思えます。昨年は英彦の泉20周年で、奄美から16名の同窓生が同窓会に出席頂き、大変賑わいました。奄美軍団の団結のパワーを感じさせられました。羨ましい限りです。いつまでも奄美の同窓会を続けて下さい。また、翌日の「五島・祈りのツアー」も楽しかったですね。きっと忘れられない思い出になった事と思います。私も一回は奄美大島に行こうと思っています。

今年の本修道会の神父様の金祝が予定されています。押川司教様の司祭叙階50周年、および司教叙階20周年。崎濱宏美校長、山下和稔修道士、斎藤進修道士の金祝と下村和彦修道士（銀祝）と大変おめでたい行事が続いていきます。心よりお祝い申し上げます。

金祝50周年と一言で言いますが、50周年は、長く大変な人生であったであろうと推察いたします。それぞれの神父様修道士様のご苦勞を機会があればお聞きしたいと思います。50周年本当にお疲れ様でした。

私事ですが、昭和23年生まれで、来年70歳になります。中学、高校と聖母の騎士で青春時代を過ごさせて頂きました。休日には英彦山に登り、稲佐山立山、そして、こしき岩の広場でソフトボールをし、クタクタになるまで歩かされました。これはきつと疲れさせて悪い事をしないようにとの作戦でなかったのかと思いますが、楽しかったその頃の事が今でも甦ってきます。

ある日、クタクタに疲れて帰り、そして、就寝中に火事がありました。中学1年の時です。おまけに2回も。死

者がでなかった事が幸いでしたが、原因は生徒が家に帰りたい一心で放火したとの事です。極度のホームシックの状態だったのでしよう。皆、同情した事と思います。

昨今、この世知辛い世の中を生き抜くのも大変だと感じる事が多くないでしょうか。こういうふうを感じるの

と10年生きているかな？何か母校に貢献できればと思うこの頃です。

母校は、少子化の影響で入学生が減少し、存続が困難な時代になっています。同窓生の御協力で、学校が存続出来る様に、更なる皆様のご支援をお願い致します。

同窓会にも気軽に出席して下さい。お待ちしております。

## 自然から 学ぶ



聖母の騎士高等学校校長  
同窓会顧問 崎濱宏美



「神様がどんな方であるかを理解するのに役立つことに、『自然を見つめる』ということは大事な要素である」と言われている。私はそんな高尚なことを解説するつもりはないが、身近な草や木などを見ていると、驚いたり感動したりすることがある。

1986年4月、1年間休職してアメリカへ行くことになった。司祭になって20年間は教育現場で体当りの勤務をしていたので、少し休ませてもらうと考えたわけである。アメリカを選んだのは、やさしい英会話ぐらいできるようになりたかったことと、当時合衆国にはコンベンツアル会の修道院が157か所

もあり、修道会が運営している高校が4校あったので、学校を経営している修道院で過ごさせてもらいたいという考えもあつてのことである。滞在先はカリフォルニア管区にお願いすることになった。「旅費だけで滞在費は不要」との手紙をもらってロサンゼルス近郊のグレンドローラの修道院に落ち着いた。

敷地は2千坪ぐらいの広さで、3名の司祭と14名の学生たちが生活していた。神学生は4名で、他は一般信徒の若者たちが共同生活を体験しながら召命を考えると、「スタディーハウス」と呼ばれている修道院だった。敷地内には、日本では見たことのないコルクの木、アボカド、そしてグレープ

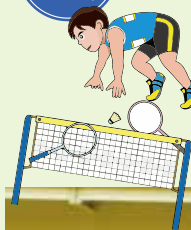




# 学園だより

## 高総体と高文連報告

2017 平成29年



平成29年度、長崎県高等学校総合体育大会の開会式が6月2日(金)、長崎市総合運動公園かきどまり陸上競技場で開催されました。本校からは千住先生を団長とし、旗手はバドミントン部主将の柿本君が務め、少数ながら20名の若人達が堂々の行進を行いました。競技には、バドミントン部と個人競技として陸上、水泳にそれぞれ出場しました。

なお、文化部のバグパイプ部が長崎県高等学校連合音楽大会に参加しましたので、併せて報告いたします。

### 【バドミントン部】

バドミントン部顧問 飯田友広

今年度の高総体は、個人戦ダブルスに1組、シングルスに2名が出場しました。

ダブルスは「守らず攻める」形に持

ち込んで勝ちを目指しましたが、力が入りすぎる、スピードを上げてミスをするなど、自滅気味に失点して1回戦で敗退しました。

シングルスは、全く勝てない相手ではありませんでした。2人とも1回戦で敗退しました。1人は試合中に右足の拇指球の皮にまめができて剥がれたため、思うようにプレーができませんでした。もう1人は、終わってみたいとどちらが勝つかわからない内容でしたが、2ゲーム目の中盤に動きが鈍くなり、体力勝負で負けてしまいました。

出場した選手は3年生で、これまでの地区大会や春季大会の初戦を勝ったり負けたりしていたので、高総体の初戦は勝ちたいと思っていました。最後の大会で勝てなかったことは残念でしたが、引退するまでに勝つ経験ができたことは、彼らにとって収穫だったと

思います。

ダブルスのゲーム練習ができないなか、卒業生が練習に参加して協力してくれたので、非常に感謝しています。ありがとうございました。

これからもご支援をよろしくお願いします。

### 【陸上・水泳の個人競技】



います。競技は終わりましたが、水泳で得た経験をこれからの高校生活に生かしてほしいと思います。

陸上競技には同じ3年生の梅本君が、200mの予選5組に出場しました。向かい風の悪条件下で最後までペースを落とすことなく、自分の持てる力を精一杯に出し切りました。結果は9人中5位と健闘しましたが、予選通過はできませんでした。梅本君も1年生から陸上競技に出場し、学校帰りに松山陸上競技場で練習を積んできました。これが最後の大会だと言っていました。これからも、いろいろなことに挑戦する気持ちを忘れずに頑張ってくださいと思います。

水泳には3年生の戸梶君が出場しました。戸梶君は3歳から水泳を始め、これが最後の競技参加だと本人は言っていました。50mと200mの自由形にエントリーし、50mは予選1組、

200mは予選2組で共に組内順位は1位でしたが、タイム差により決勝進出はできませんでした。しかし、50mも200mも自己ベストの記録だったそう、本人なりによく頑張ったと思





### 「バグパイプ部」

バグパイプ部顧問 熊川武俊

5月28日(日)、バグパイプ部が、とぎつカナリーホールで開催された、「長崎県高等学校総合文化祭 器楽・管弦楽部門大会」に参加しました。

この器楽・管弦楽部門には、県下の高校音楽系クラブのうち、管弦楽、ギター・マンドリン、ハンドベル、軽音、そしてバグパイプ等の8団体が所属しており、当日は、各楽器特有の多彩な音色がホール中に響き渡りました。そして、その中でもバグパイプの音色と迫力は、特に異彩を放っていたようです。

3年生部員にとっては、これが最後の舞台ですので、この日のために一生懸命に練習を重ねてきたのは言うまでもありませんが、今回は、これまで演奏してきた曲の中で、最もテクニクが要求される難曲にも挑戦しました。その甲斐もあってか、アンケートには、「迫力に驚いた」、「独特の音色が心にしみた」、「衣装がかわいい」などの好意的な感想をたくさん頂きました。15分という短い演奏時間でしたが、3年生にとっては、これまで頑張ってきた努力と情熱が凝縮された、貴重なひと時でした。



### 新しく、坂本先生が赴任されました

よろしく  
お願いします

さかもとまさとし  
● 坂本雅俊



このたび素晴らしいお導きをいただき、聖母の騎士高等学校に赴任致しました坂本雅俊と申します。昭和34年長崎市に生まれ、高校卒業後、福岡県内の大学に進学。卒業後、福岡の中学校と私立高校で2年講師を勤めた後、福

岡市立の中学校に採用され6年間、その後、福岡の県立高校に移籍して2年間勤務致しました。担当教科は国語。「授業は楽しく!」をモットーとしています。  
5年前、母親と叔母の介護のため帰郷し、4年間長崎市内の私立高校で学校カウンセラーと授業とを担当しておりました。趣味は、山歩きです。4年前から、スペインのサンチャゴ・デ・コンポステーラ巡礼路を歩いており、これまで1000キロ踏破しました。  
同窓会の皆様、何卒宜しくお願い致します。

## 第15回 学園劇定期公演案内

### 日本二十六聖人殉教420周年記念

# 風花の丘

(かざばなのおか)

原作・脚本 崎濱宏美神父 / 演出 川下祐司



日時 2017(平成29) 11月15日 水  
午後5時30分 開場  
6時30分 開演

会場 チトセピアホール  
長崎市千歳町5-1  
☎095-842-2700

チケット 全席指定: 1,000円  
小中高生: 500円

問合せ 聖母の騎士学園  
☎095-823-4523



# 各地区からの お便り



## 「関東支部便り」 同窓会支部報告と 教会めぐり

関東支部事務局 徳永義雄

### 「2017年度関東支部同窓会報告」

2017年度関東支部の同窓会が6月24日（土曜日）赤羽教会において、午前11時から感謝の御ミサに始まり開催されました。その後信徒会館において12時から総会、その後懇親会と続き午後4時近くまで、久々の集まりに親交を深める事ができました。

77通の案内状を出し、出欠の返事があったのは36通で、出席参加者は23名でした。今年は春の修道会員の移動で、支部長池田さんと事務局徳永の同級生の久保神父様と松田神父様が関東支部の仲間に加わって頂き華やかな同窓会となりました。

今年の会計報告で、昨年のお繰り越し金からの残高がおおよそ半減した旨の報告がありました。懇親会の雑費や一

年間の催し物に関わる経費等が同窓会参加費の中から出費されます。

そこで事務局からの提案で年会費を少し増額させて頂きたい旨を提案し、皆さんに了承していただきました。来年から少し負担が増えますが、ご理解の上ご協力をお願いします。

関東支部の同窓会は原則として毎年6月の最終土曜日を定例としています。そして来年は、今年から赤羽教会に赴任して来られた水浦征男神父様の誓願50周年の記念すべき年に当たります。そこで来年は神父様のお祝いをかねて同窓会を開催します。

いつも参加されている方はもちろん、久々の方、初めての方、神父様とお目にかかり、さかづきを酌み交わしたい方、特に、一般の学生が入学できるようにになってから聖母の騎士学園で学んだ若い方々の参加をお待ちしています。ちなみに来年の6月の最終土曜日は6月の最後の日の30日です。

忘れないように、予定に入れておいて下さいね。

### 「教会巡り」大宮教会」

事務局・徳永は同窓生が所属している教会を訪ね歩いていきます。正確には歩き始めたばかりですが……。

今までは比較的住まいの千葉に近い成田教会、鹿島教会から平塚教会、茅ヶ崎教会へ行きました。今年7月1日に大宮教会を訪ねました。この教会には奄美大島ご出身の美島先輩がいらっしゃいます。

埼玉教区の拠点教会で2003年にできた新しい教会です。幼稚園と教会が並んで円形の運動場を囲むように建っています。御聖堂も祭壇がほぼ中央にあり信者席が囲んでいます。お祈りの言葉や聖歌の楽譜が祭壇の後の壁のスクリーンに映し出されます。やはり新しい教会だなと感動しました。

ごミサが終わって、「初めて大宮



教会に来られた方」として紹介され、私の所属の教会が千葉の千葉寺教会で、出身地が長崎の平戸で、美島さんと同じ聖母の騎士の卒業生と言うと小さなよめきがあります。教会に奉仕され、信者の方々の中心で尽くされた同窓生・美島さんのご苦労を感じました。また、長崎出身の方はもちろん平戸出身の方がたくさんいらっしゃる事にびっくりしました。残念ながら聖母の騎士学園の卒業生にはお目にかかることはできませんでしたが。

「また来てくださいね。」と教会のあなたがたの温かい言葉を頂きながら帰路につきました。そのうち、みなさんの教会にも伺えることを楽しみにしています。

### 「関東支部便り」

**赤信号、みんなまで  
渡ればみんな死ぬ！**  
—博多屋先生の思い出—

東京都在住 外山 祈

博多屋先生と言うと皆様はどのような印象をお持ちでしょうか。私には「人情」という言葉がピッタリ合う様に思えます。高三のある日、私が図書室で勉強をしていると、博多屋先生が入ってこられました。そして「おう、お前ら。ちょっと来い」とあの低い

声。「何だろうか？」と思いがながらついで行くと、そこは食堂手前に設置してある自販機の前でした。「？」を出している私に向かって先生は「おう、好きなものを選べ」と仰っしゃる。確か缶コーヒーをおごって頂いたと思いますが、お礼を申し上げると、「頑張れよ」とちよっと照れくさそうに笑われ、先に階段を登っていかれました。受験勉強も本格化し、プレッシャーも重くなってきた時期でしたが、その分、先生の優しさを肌で感じる事が出来ました。

この様な人情味あふれる博多屋先生でしたが、一度、授業中に怒鳴られた事がありました。確か「化学」の授業だったと思います。元素記号に関する宿題を（私の記憶が正しければ）私を含めクラス全員がやって来なかった日があったのです。クラスの「全員」が宿題を忘れたという事で「余裕」が生じ、反省の気配が見られなかったのでしょう、その日の授業は全て先生の説教でした。そしてその中で先生が仰ったフレーズを私は今でも鮮明に覚えています。「君達！『赤信号、みんな渡れば怖くない』と思っとるでしよう？ 違う！『赤信号、みんな渡ればみんな死ぬ』それだけです！」。

先生のこの言葉は今でも色褪せることなく私の中に残っています。私の代の卒業感謝ミサでは「あなた方は地の

塩である」という福音箇所（マタイ5・13～16）が朗読されました。イエスの時代においては塩の精製技術が低かったため、湿気の侵入によって塩気が失われてしまうという事はよくあったそうです。「聖母の騎士」は社会の中で「平和と善」の生き方を実践する事を通して「地の塩」となる訳ですが、しかし油断をするとこの世の価値観という「湿気」に妥協してしまい、

### 長崎便り

## けがれなき聖母の騎士会 創立一〇〇周年

聖母の騎士修道院長 山口雅稔

くマリア

4月から聖母の騎士修道院で生活を始めた山口雅稔と申します。わたしは、群馬県の桐生高等学校出身で、聖母の騎士学園の卒業生ではありませんが、同窓会の皆様には大変お世話になっていることを改めて感謝申し上げます。

わたしが聖母の騎士学園と深く関わらせていただいたのは、神学生時代、修道会の修練を終えて教育実習をさせていただいた時です。小さな学校でありましたが、先生方の熱心な授業の様子や、実習生への熱心な先生の指導を受け、日々反省しながら

「塩気」を失ってしまう危険もあります。博多屋先生のこの叱咤激励は「油断せず常に聖母の騎士であれ」という呼びかけの様な気がしてならないのです。

博多屋先生は私が高三の時に急逝されました。何の恩返しも出来ませんでした。せめて先生のこのメッセージを忘れず、聖母の騎士として生きてゆけたらと思っています。



聖コルベの像(ルルドへの参道)

ら毎日の授業準備をしていたことは、今思い返して、たいへん貴重な学びをさせていただいていた時だったと感じております。

聖母の騎士学園は、聖母の騎士修道院を中心として、聖母の騎士社、聖母の騎士幼稚園、聖コルベ記念館、カトリック本河内教会と同じ敷地内にあります。そのすべては、聖コルベの聖母マリア様への愛から生じたものです。「マリア」と挨拶を交わし合い、絶えずマリア様を意識して生活をしていた修道者たちの「無原罪の園」が、聖母の騎士学園をはじめ、すべての事業体の

の源にあります。

聖コルベが神学生の時にローマで始めた「けがれなき聖母の騎士会」が、今年で創立一〇〇周年を迎えようとしております。聖母マリア様を通してイエス様のいつくしみの愛の御心が、できるだけ早く世界中に広がるようにと、聖コルベは人生のすべてをあますことなくお捧げし尽しました。同窓会の皆様から日本中の人々へ、さらに世界中の人々へとマリア様のやさしさが浸透し、イエス様のいつくしみの愛の御心を中心にした世界へと変容されますようにお祈りしております。

「聖母の騎士は自分のことだけに心を奪われてはいけません。また、家族、親類、友人、近い人たちのためだけに考えません。むしろ全世界を、一人ひとりを、そしてすべての靈魂のことを考えます。なぜならすべての人は例外なしにイエスの御血で贖われており、皆がわたしたちの兄弟だからです。騎士は皆のために、本当の幸福を望んでおり、信仰の光で照らしたいのです。罪から清め、神への限りない愛で彼らの心が燃えることを望んでいるのです。全人類が聖母を通して、神のうちにある幸福をつかむことを望んでいます。それこそ聖母の騎士の夢です。」

「マキシミリアノ・マリア・コルベ神父のことば集『無原罪の聖母』87頁、「聖母の騎士社」より」



# 豪華客船から軍艦島を案内

長崎支部 木場田友次

2017年5月2日、11万6千トンのダイヤモンド・プリンセスで行く「美しい日本風景と釜山クルーズ8日間」のクルーズの途中、広島港から乗船し、一路釜山へ。釜山に入港前、休憩をはさみ2時間40分の講演をしました。5百人収容のホールは満員でした。テーマは二つ、①鉱員たちの労働恐怖と宗教観、②軍艦島のファッション・娯楽・生活様式。本稿では紙面の都合上、鉱員たちの宗教観について掻い摘んで述べたいと思います。石炭を掘り進んだのは、地下約1千メートルの炭層。労働環境と言いますと、温度は37度以上。湿度は95パーセント以上。蒸し風呂の中で重労働をするようなものです。

24時間、3交代で一度に約3百人の鉱員が地下で働いたのですが、地下にトイレはありませんでした。トイレがしたくなったらヘルメットのヘッドランプのスイッチを切りますと、辺りは暗闇。所かまわず猫ちゃんのように土を掛けていました。坑内がゴミだらけになりますので、トイレットペーパーを使用するのは厳禁でした。坑内



ダイヤモンドプリンセスから軍艦島案内



ダイヤモンドプリンセス 操舵室からの軍艦島

で目にするものは、黒い石炭の壁と暗闇。黒い砂漠地帯そのものです。おまけに空気中は炭塵が舞い、これが汗にまみれた体にまとわりつき、熊本のキャラクター「くまもん」も顔負けの状態になります。仕事の他に鉱員たちが神経を使ったのが、落盤、ガスの吐出、突然の出水など、常に死との隣り合わせの連続でした。これ等の恐怖から逃れるために鉱員たちは神仏に頼りま

で目にするものは、黒い石炭の壁と暗闇。黒い砂漠地帯そのものです。おまけに空気中は炭塵が舞い、これが汗にまみれた体にまとわりつき、熊本のキャラクター「くまもん」も顔負けの状態になります。仕事の他に鉱員たちが神経を使ったのが、落盤、ガスの吐出、突然の出水など、常に死との隣り合わせの連続でした。これ等の恐怖から逃れるために鉱員たちは神仏に頼りま

した。軍艦島には神社仏閣があり、坑前には神社仏閣に向かって手を合わせ、事務所にある塩で身を清め、仕事場に向いました。操業当時、キリスト教徒も九十名ほどいましたが、教会はなく、信徒の家を「家御堂」として信仰の拠り所にし、毎週「宿老」が聖母の騎士のルルドから水を汲んで来て鉱員たちに分け与え、信徒の鉱員たちは小瓶に入れ仕事場に向かいました。この水に勇気付けられた鉱員も多かったと言います。荒くれ男たちのメンタルの世界如何でしたか。

## 長崎便り 教壇に立っています

平成23年卒 深水晴紀

当時を振り返ると、先生方には大変ご迷惑をおかけしたことしか思い浮かびません。卒業まで、先生方に熱心にご指導をいただいたからこそ、今の私があると思います。この場をお借りしてお礼申し上げます。

学校生活は、少人数制ということもあり、先生方との距離が非常に近く、私にとって本当に良い思い出で溢れています。部活動では剣道に入部しました。顧問の廣島先生には初心者である私に熱心なご指導をしていただき、さらに校外への練習の機

会も多く与えていただきました。高総体では、個人戦はもちろん、少ない人数ではありましたが団体戦にも出場することができました。結果としては悔しさが残るものでありましたが、後輩とともに練習や試合で流した汗や数々の思い出は今でもよく思い出します。

剣道部を引退後、進路を考える時期になり、高総体以前から大学選択を迷っている私に美術系の大学進学を吉田先生に勧めていただいたこともあり、大学で美術を専門的に学ぶことを目指し、美術部に入部しました。そこで、吉田先生の的確なご指導のもと日々デッサンの練習に励み、長崎大学教育学部中学校教育コース美術専攻に入学することができました。大学卒業後は教職大学院へと進学し、美術教育

に関する研究を行い、昨年度、無事に卒業しました。そして、今年度より長崎市の海星中学・高等学校で美術科の講師をしています。50分という限られた時間のなかで、美術指導はもちろん、いかに生徒が活躍できる場を設定できるかなど日々苦労しています。また、自分自身の知識や技術の向上に向けて、日々勉強中です。そして、講師として勤務しながら美術教育の研究も続けており、今年度は韓国で行われる学会、日本の学会での発表が控えています。

今後も聖母の騎士で先生方から学んだこと、聖母の騎士高校での学校生活を糧に教員として日々の勉強及び美術教育に関する研究に全力で取り組んでいきたいと思っております。



# 2016 nendo 奄美支部の 活動この1年 AMAMI-SHIBU

## ●奄美支部総会

2017年5月21日 日 午後4時～



支部総会、池田尚志が副支部長に就任した

## ●物故者

河野レイ子さん、久保ウメさんが帰天されました。同窓会も葬儀のお手伝いをしました。50年前、聖母の騎士に出發したこのマリア教会で葬儀ミサを通して再会することが出来ました。



左から  
安田  
河野  
久保

## ●山間教会での草刈り作業



コンベンツアルの宣教師たちが守り続けた神の家を、騎士たちは、司祭とともに支えるべく活動している

## お年寄りだけの教会



特別に暑い日でした  
左から  
押川、池田、山田

## ●聖コルベの記念ミサ

2016年8月14日 日



第一朗読  
安田孝春  
第二朗読  
池田尚志



学校創立者の記念日に感謝のミサは続けられている

ご父兄も参加するミサが奄美のスタイル

## ●アダムさんの命日ミサ

2016年12月8日 水



第一朗読  
近藤芳弥  
第二朗読  
山田 明



## ●夏の集いは今年も盛り上がりあがりました



見た目より旨い揚げ魚



幸次が連れて来た俳優緒形拳のお孫さん(左)



マグロ、地タコ

全国の同窓会の皆さん、奄美ではこんな集いをしています

## ●希望の星学園奉仕作業



完全武装の平国光

高圧洗浄機を使って、建物の外壁と床面の汚れを綺麗にしました。みなさんお疲れ様でした。





# [特集/祝、押川司教様] 金祝及び司教叙階20周年

●金祝記念ミサ 奄美 2017年1月8日



コンベンツアル来島50年記念聖堂で捧げるミサ



叙階記念のカード



朗読 平国光

▲司祭団と侍者の子供たち



静かに50年の想いを語られる



赤ちゃん泣き出した! ミサ後入口付近

◀献堂式依頼の大勢の信徒が参加した



夜光貝の十字架・数珠のロザリオ



手作りのプレゼントを贈呈

●祝賀会 奄美編



市内のホテルで祝賀会が行われた



沖縄から叙階記念ミサに参加した巡礼団



太鼓のリズムに合わせて八月踊り



こうなると止まりません、大熊のマダムたち



島中の教会から競って出し物が登場



かつて主任司祭であった大笠利の教会墓地



天国に近い島と紹介されたこともあるこの地に、宣教師を通して福音は述べ伝えられた。

※迫害を乗り越えた信者たちが静かに眠る天国の入り口

瀬留教会を訪問(郡山司教様の出身地) 沖縄に戻るまえ、同行のシスターに島を案内されました。これが真冬の奄美です





● 金祝記念ミサ 沖縄 2017年2月11日 日



カナの婚宴を思わせる焼酎カメが奉納された

日本語と英語、同時通訳のマーシーさん▲



奉納行列が続く。最後にカメを担ぐ青年



修道誓願50年シスター



結婚50年特別の祝福を司教さまから受ける



終身助祭・信徒の金婚式 那覇教区を挙げて一緒にお祝いする



記念品贈呈



もちろんお酒も



司教の妹夫婦も金婚式



司祭叙階50年と60年



那覇教区の聖歌隊

● 叙階記念ミサ・前夜祭 2017年2月10日 金



夕闇の那覇新都心に輝く十字架 叙階記念ミサの会場となる安里教会



オルガニスト



沖縄以外からも叙階記念ミサに司祭が共同司式で参加した



司教館では前夜祭の準備が



司教館で喜びを共にする司教の姉妹



前夜祭に参加した奄美の三佐男と尚樹



ミサで奉納された沖縄の古酒 1994年1月 久米島の久米仙 43度 1斗



那覇教区の名物、子豚の丸焼きに大行列



とにかく圧倒です。人、酒、食事、芸能





シスターの大合唱



兄妹の踊り



沖縄のカチャーシー



奄美から叙階記念ミサに参加した押川家の親戚



琉球王朝の盛装で出番を待つ司祭と信徒

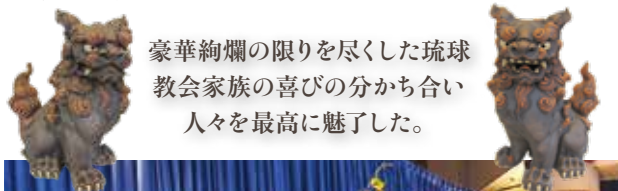


着飾って待機する沖縄マダム



華麗なダンスを披露する小教区の信徒

リズムカルな音楽、軽快なステップ、独特の衣装。カメラが殺到しました



豪華絢爛の限りを尽くした琉球教会家族の喜びの分かち合い人々を最高に魅了した。



これが普通のシスター?



フィリピン出身の方々



ベトナム出身のシスターによる優美な舞い



これです沖縄!



那覇教区の司祭団 負けていません



青年会の協力に感謝



# 司祭叙階50周年、司教叙階20周年 おめでとうございます。

カトリック那覇教区長 ベラルド 押川 壽夫 司教様

《今日のほこらしやいつよりも勝り》  
私ごときが、これほど大きな喜ばしいお祝いを申し上げるには、あまりにもおそまつであると思いますが、押川司教さまの召命には、ゼローム神父さまのひと声があったと聞いています。ゼローム神父さまも、さぞ天国で満足しておいでと思います。

これからお体大切にして、神の国のため、きばって下さいますよう祈ります。

●村田 正男 《音楽家・聖心教会》

押川司教様、司祭叙階金祝・司教叙階20周年のお祝いを心からお喜び申し上げます。

司教様が長崎の聖母の騎士学園に入学して来たのは中学3年生でした。その当時は奄美大島から多数の生徒が入学して来ていました。司教様が入学して来た時、私は高校3年生だったので、学園と一緒に生活したのは1年だけでした。その後、東京のコンベンツアル会の大神学校で司教様と一緒にいましたが、司教様は間もなくローマの同会大神学院に留学しましたので、殆ど一緒にすることもありませんでした。

司祭叙階してローマから帰国した後、また私との学年の違いなどがあり一緒に生活することは余りありません。

した。その後、司教様はコンベンツアル修道会の管区長として活躍していました。その間にはお会いする事もありませんでした。また、東京での聖母の騎士学園関東支部の同窓会にも時々出席してくださいました。

私が司教様に特にお世話になりましたのは、1998年以降です。この年の2月に司教様から、沖縄のカトリック学園を手伝ってほしいという電話がありました。その内容が学校長としての経験もなく、私としては校長としての経験もなく、ましてやそれだけの能力もないと思い、辞退いたしました。司教様からカトリック学校での経験がある方を欲しいので来て欲しいと言われました。私は沖縄にまだ一度も行ったこともなく、またカトリック学園の先生方もお会いしたこともなく、全く不安でしたが、司教様に何かお手伝いできればと思い、沖縄に行くことを決心しました。

司教様から沖縄には3年は居てほしいと言われ、私もその位はお手伝いしなければと思っていました。司教様は司教として那覇教区の教会、信徒たちを色々指導され、信徒たちも司教様を敬愛していました。学校でも入学・卒業等にもご出席いただきました。また、教職員の研修会にも度々お出で頂き、カトリック学園の教職員としての在り方を指導してくださいました。毎

年、九州・沖縄のカトリック中学校高校の校長会が行われていました。

私が任務していた時、沖縄で校長会を行うことになり、その時の基調講演を司教様にお願ひし、司教様は沖縄の文化・平和等大切なことをお話しくださいました。私の沖縄の学校の任務は9年間でした。その間、いろいろな面からお力を戴き、任務を終えることができました。心から御礼申し上げます。また、司教さまにはまだ司教としての任務がございます。神の祝福と健康を心からお祈りいたします。

●松本 茂男 《大船教会》

押川司教さま、司祭叙階金祝、司教叙階20周年おめでとうございます。こちらからも健康に気を付けられて頑張ってください。

●久保 聖一 《マリア教会》

押川司教さま、司祭叙階50周年、司教叙階20周年誠におめでとうございます。長崎・湯江のヨハネです。私は目が見えないものですから、司教様の目のことをいつも心配しております。聖霊がお守りくださいますように、お祈りを続けていきます。

●ヨハネ 村山 安治 修道士

《聖フランシスコ園》



押川司教様、司教叙階20周年・司教叙階50周年誠にめでとございます。

司教様が、大笠利教会主任司祭の時に、結婚の挙式をして頂きありがとうございます。結婚の挙式をして頂きありがとうございます。結婚の挙式をして頂きありがとうございます。

本日に感謝いたしております。これからも、私たちに与えられた人生を精一杯祈りの内に日々過ごして行きたいと思っております。司教様も、これから元氣でお過ごしされますよう奄美の地よりお祈りいたします。

●新納 啓昭 《大笠利教会》

押川司教様、司教叙階50周年・司教叙階20周年心よりお祝い申し上げます。

20年前、奄美から信者がツアーを組んで、沖縄での司教叙階式に参加したのを思い出します。これからもご健康で活躍されますように、お祈り致します。

●田下 幸次 《志布志教会》

司教叙階と司祭叙階の記念おめでとございます。

私は長崎の本河内教会で、押川司教様の手により司祭叙階のお恵みを受けました。曇り空、雨が降りそうな日

でしたが、叙階を受けた瞬間に太陽の光線が聖堂を照らしたのを、今でも昨日のように覚えています。聖霊のお恵みと思うぐらいの明るさもありました。司教さま、本当におめでとございます。手を通して頂いたお恵みを、手を通して分かち合いたいと思えます。

●山浦 義春 神父 《電有教会》

ベラルド押川司教様、金祝、おめでとございます。

早いものです。司教叙階50年、司教叙階20年。司教様を知るものとして、本当に誇りに思います。そして、大変な時期に、ご苦労があったことかと存じます。よき導き手として本当にありがとうございます。たくさんご活躍なさったことでしょう。

神学校時代、奄美に夏休みで帰省する時に、奄美軍団そろって、長崎本線、鹿児島本線の石炭汽車に乗って、煤で真っ黒、肥前山口か鳥栖で乗り換え、その先頭になつて、指揮・指導したのが司教様でした。鹿児島島の山口教会で宿泊。台風で船が欠航の時には、教会の部屋全部の廊下をたわしでこすり、その後ローソクを擦り込んでいく。懐かしい思い出です。青春を共に過ごせたことを感謝いたしております。同じ釜の飯を食べたものでも、でもローソクの擦り込みは、きつ

かった。これからも、皆様の司牧に先頭に立つて、ご活躍なさることでしょう。私たち奄美軍団もご指導下さいますようお願いいたします。

●泊 秀信 《大牟田市》

押川司教様、司教叙階50周年と司教叙階20周年、おめでとございます。

教会の奉仕者としてミサをお捧げしながら時を刻んできた大きな恵みを、主が、司教様とわたしたちに与えてくださったこと感謝いたします。どうかこれからの日々も、主が、教会を通して司教様にその愛を示してくださいませ。すようにお祈り申し上げます。

●山口 雅稔 神父

《聖母の騎士修道院》

押川司教様 司教叙階50周年、司教叙階20周年おめでとございます。

司教様との数多くある思い出の中で、特に印象深かったことは、二度も一緒に聖地巡礼に行かせて頂いたことです。1994年8月、初めての巡礼でしたが、アシジの広場で8月踊りをしたり、夜のセーナ川下りでエッフェル塔が空に浮かんで見えたことなど、とても素晴らしく感動しました。二回目は、2000年にエジプト、

イスラエル、ローマ、アシジ、ルルド巡礼に参加させて頂きました。司教様は、目の具合が悪いと聞いており心配していましたが、早朝2時に起きてシナイ山頂まで登られ、そこで見た朝日の素晴らしさは、忘れられません。また、カナの婚礼教会では、私達が結婚35周年とういうことで特別に祝福して頂き、その後パパ様からメッセ

ジを頂くことが出来ました。これは、押川司教様でなければできない事だと感激致しました。今でも巡礼地名を耳にすると、あの頃の光景が目浮かび、私たちの心の財産として残っております。

また、フランススコザビエルの聖碗を拝みに沖縄に行った時の事です、ミサの入堂の際、司教様は一人ひとりの肩にやさしく手を当て、声を掛けながら祭壇に進まれました。沖縄の方々を温かく優しいお気持ちで大切に思われているお姿が良くわかりました。20年前、司教叙階式での『沖縄の人になつて沖縄のために働きます。』と言われたお言葉の通り実践されておられる事に感動しました。

奄美の私達、沖縄の方々にも、大切な司教様です。どうぞお体を大切にされ、ますますのご活躍をお祈りしております。感謝！

●栗栖 二郎・康子 《マリア教会》

押川司教様、責務ご苦労様でした。

● 励八重子 《大笠利教会》

ベラルド押川司教様、司祭叙階50周年と司教叙階20周年おめでとうございます。

20年前のある日、突然呼ばれて韓国の濟州島旅行を頼まれて、理由も分からず同行して楽しんでいただいた事を思い出します。旅行の最後の日の夜、日本に戻ったら修道会を離れるかもしれないとおっしゃった時、司教様の顔から戦場に向かう兵士の緊張感のようなものを感じました。

あれから、もう20年が経ちます。長い間お疲れ様でした。今の司教様の顔からはお父さんの優しさを感じます。これからも長くその顔に同行させて下さい。

● 兄弟アンドレア 金熙一 神父

《奄美修道院》

押川司教様、叙階記念おめでとうございます。益々のご活躍をお祈り致します。

● 安田 誠 《谷山教会》

押川司教さま、司祭叙階50周年、司教叙階20周年、おめでとうございます。

司教様のユーモアと熱意あふれる言葉に励まされております。小さな教区の司教でありながらも、視点を変えればキリストを知らない多くの民たちを受け持つ司教様です。その司教様の根っからの宣教師としての熱意が、行き詰まりを感じている教会、若い司祭や青年たちの心を燃え立たせます。どうぞ、お身体を大切にされて、今後も活力に溢れ、福音の喜びに満ちた魅力ある司教様の姿を、後輩である私たちに遺していつて下さい。

司教引退、おめでとうございます。

● 内野 洋平 神父 《大笠利教会主任》

押川司教様、司祭叙階50周年、司教叙階20周年おめでとうございます。

那覇教区は若い教区ですが、とてもエネルギーがあり、まとまりのある素晴らしい教区に感じました。お身体を大切にしながら、これからもずっと沖繩のよき牧者であり続けてください。

● 押川 尚樹 《聖心教会》

押川司教様 司教叙階20周年、司祭叙階50周年おめでとうございます。これからも健康に留意されて司牧に努められますように。

● 山田 博信 《大船教会》

押川司教様おめでとうございます。司祭叙階から50年、そのうちの20年は沖繩教区長、司教としての重責、ご苦労様でした。

司教様と私は小神学校の中3から高3まで、修練期、大神学校の哲学科3年までの合計8年ほどを同じ釜の飯で過ごしました。小神学校時代は、理科の秀才、大神学校時代はソフトボールの強打者というのが、押川司教様です。高校の数学の授業で、「太田じい」と呼んでいたアゴ髭の老教師の講義を熱心に聴き、鋭い質問をするのが押川君でした。

東京・王子の大神学校では、わずかな昼休みに、全員参加のソフトボールで遊びました。明治時代の実業家、渋沢栄一の別邸だった神学校には、狭いグラウンドしかありませんでした。内野のダイヤモンドがとれるほどの広さで、外野スペースはありません。外野のレフトの位置は、ホームベースからは見えない低い土地になっていました。ベラルド押川の定位置はここ。打球が三塁手の遙か上を飛んで行きます。ボールの落下地点はバッターボックスからは見えません。「オーライ、オーライ」というベラルド押川の掛け声が聞こえます。内野から見えない所で捕球するわけです。たとえ、落球していても、捕ったことになりました。ベラルド押川の打球も凄かったです。

自分の守備位置レフトに高く打ち上げていました。バットを長めに持ってホームラン級の当たりを飛ばしていました。

いま、私は王子の近く赤羽にいます。ベラルド押川君らと青春時代を過ごした、王子神学校跡を訪ねたいと思っています。

● 水浦 征男 神父 《赤羽教会》

押川司教様、司祭叙階50周年、司教叙階20周年おめでとうございます。これからも持ち前の情熱を注いで我々を導いて行って下さい。

● 安田 孝春 《マリア教会》

押川司教様、司教叙階20周年、司祭叙階50周年おめでとうございます。笠利教会での思い出がよみがえってまいります。これからも、元気で過ごして下さい。

● 日高 実義 《大笠利教会》

押川司教様、司教叙階20周年、司祭叙階50周年おめでとうございます。

押川司教さまが管区長時代、大神学生だった私は大変お世話になりましたが、更に2002年4月からの3年間、宮古島へ派遣された際には、大変



大変お世話になりました。十数年前のことを思い返し、司教さまの思い出を少々披露させていただきます。

司教さまは大の犬好きでいらっしやいます。当時はピカとザケオの2匹のワンちゃんを飼っておられました。失礼を承知で申し上げますが、犬にもかかわらず猫かわいがりの状況で、正直なところ躰けがあまりなされていらない印象を受けました。

那覇教区では夏休み期間に、小学3年生から高校生までを対象にしたキャンプが行われています。会場となる恩納村のミツシヨンビーチに、司教さまはザケオたちを連れてこられ、一緒に海水浴を楽しんでおられました。背中にザケオを乗せて泳がれることもあり、まるで犬がサーフィンをしているようにも見え、微笑ましい光景でした。小犬は大丈夫でも、小学生の子どもはさすがに背中に乗せるのは無理。危うく溺れそうになったことも数回あったように記憶しています。

典礼を執り行う姿とは別人のような、ラフな格好で、子どもたちと戯れておられる姿は、イエス・キリストの姿と重なって見えました。これからも老若男女から親しまれる司教さままでいてください。私も司教さまを見做したいと思います。(ただし、犬を飼う予定はありませんが……)。兄弟太陽が力強く照りつける南の島

で奉仕される司教さまの上に、引き続き神の豊かな祝福が燦々と降り注ぎますように。

●赤尾 満治 神父

《仁川学院マリアの園幼稚園園長》

押川司教様 司祭叙階50周年、司教叙階20周年おめでとうございます。私が、司教様のことで思い出すのは

聖母の騎士小神学校の中学一年生の時、司教様が高校三年生で小神学校(中学・高校)の生徒代表プレゼスとして活躍されていたことです。中学一年にとつて先輩方は、ある意味親しみと、恐れ、尊敬を感じさせる存在でした。

司教様は牧者として長年にわたり多くの信者へ宣教の務めをはたされ、現在も那覇教区長として沖繩の信者さんのために活躍されており、そのご苦労に感謝し誇りに思っています。今後とも、司教様が健康に恵まれ司牧活動ができますようにお祈り申し上げます。

●池田 尚志 《聖心教会》

「使途の権能の偉大さ」 司教聖別20周年、司祭叙階金祝おめでとうございます。長きに渡る奉獻生活において神の見えないお恵みが見える形で司教様の上に注がれて今日に至っていること

を心よりお慶び申し上げます。

コンベンツアル聖フランシスコ修道会の管区要職の務めも果たされ、その激務を果たされたことも大きな心労ではなかったかと察しられます。修道会と鹿児島教区との協力関係における心労ではと思われまます。キリスト様が世の救いのために天の御父から遣わされたように使徒たちにお与えになつたように教皇様も使徒の後継者として司教を選びその権能を与えられています。その選ばれた司教様の使命は如何ばかりでしょうか、教区の靈的責任者としての使命はどれ程でしょうか、祈りと犠牲をもってこれからも引きつづけるように致しましょう。

●柳本 繁春 神父 《奄美修道院》

押川司教さま、司教着座20周年、司祭金祝おめでとうございます。これからもお元気で活躍下さいますように。お慶び申し上げます。

●金井 弘司 《仁川教会》

主の平和、押川司教さま、金祝おめでとうございます。押川司教さまとは、戦後の苦しく貧しかった小・中学生時代、パトリック神父様はじめ、杉山伝道師さん、平佐喜斗伝道師さんに公教要理を共に学ん

だあの頃がなつかしく思い出に残っています。

それから奄美が日本復帰してゼローム神父さまのご指導で、神学校、修道院に若い人達が多く島を離れた時代、その中に壽夫さんもおられました。あの小さな大熊部落からシスターが数十名、司祭、司教さまと聖職者が多く誕生されたことに私は嬉しく誇りに思っています。

司祭になられてマリア教会で、私と智博の結婚式をして頂いたことが、私の一歩の思い出となりました。五人の子供たちに恵まれて、両親を介抱して天国に見送り、残してくれた商売に智博と一緒に頑張っています。毎朝、ミサにあずかり、祈る時間に恵まれて自分の信仰を守れることの喜びを感謝しています。那覇教区のためにお祈りしています。

《今日ぬ ほこらしやや いちよりも勝り いつも今日ぬごとく あらせたばれ》

司教さま、お互い元気しめていきばりん しょうや!

●木田 昭代 《同窓生・マリア教会》

今年、押川司教様の司祭叙階50周年、それから司教叙階20周年を迎えられたそう、お祝い申しあげます。子供の頃の楽しかった思い出が沢山

あります。とても感謝しています。これからも、お元気で活躍下さいますように。

● 勅倫太郎 《ウエルズ・英国》

御祝、この度の押川司教様の司祭叙階50周年（金祝）、司教叙階20周年のご祝詞を心中よりお祝い申し上げます。聖母の騎士同窓会の誇りです。これからの押川司教様の益々のご活躍をご祈念申し上げます。

● 赤本 喜代次

《聖母の騎士同窓会・会長》

先輩！司祭叙階50周年、司教叙階20周年おめでとうございます。

長年、聖職者としてのご活躍、同窓生として誇らしい限りです。どうぞ、これからも健康に気を付けられて、私たちの心のファザーとしてご指導下さいませ。東京の空の下から関東地区同窓生一同お祝いとお祈り申し上げます。マリア！

● 池田 健二

《聖母の騎士同窓会・関東支部長》

押川司教様、司祭叙階50周年、司教叙階20周年おめでとうございます。

2005年に同窓会奄美支部が結成されて以来、島の教会のお手伝いを通して微力ですが活動しております、多くの宣教師に恵まれたこの島から司教様の誕生と、言

うさらなる大きな恵に感謝して、ご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

● 近藤 芳弥

《聖母の騎士同窓会・奄美支部長》

《今日のほこらしや》いつよりも勝り〜♪……》 古来奄美に伝わるこの祝唄、私60歳代の素朴な理解では、（今宵の宴はこれまでに無く誠に最高の喜びとなった。今宵の歓喜が終わることなく日々続きますように！）……。

現代のようにカラオケなど無かった頃、人々は粗末なものを持ち寄り、事あるごとに喜びを分かち合った時代がありました。お酒が入り宴たけなわ、誰ともなく感極まり、感謝を込めてこの喜びの唄を口ずさみ、貧しさ、苦しさをお互い励ましあいながら乗り越えてきたものです。子供のころ普通に見られた島の光景でした。奄美の先人たちは、昔から絆を大切に人としてのあるべき姿を子孫たちに残してくれたのでしよう。

沖縄と奄美は戦後日本復帰を果たした兄弟島、司教の重責を担い神のみ旨のままに尽力される島人（シマンチュ）の誇り、ベラルド押川壽夫司教に（全員ご唱和下さい）乾杯！ 応援！ 叙階ダブル記念おめでとうございます！！

● 田下 三佐男

《聖母の騎士同窓会・奄美支部事務局》

.....



特集・叙階記念ミサについて

一年前の奄美支部総会で押川司教さま叙階記念ミサを是非、奄美で実行したらと企画提案をしました。言い出した者の責任で、沖縄の記念ミサにも取材を兼ねて出掛けることが出来ました。スゴイの一言です、何もかも圧倒されました。撮り損ねた場面もありますが、持ち帰った数百枚の写真ファイル（一部提供）を修正・調整して勝手に選り出し、テーマを感謝、喜び、分かち合いとして素人表現しました。

また、祝辞のお願いを一方的に行い、戸惑いにご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。お忙しい中、ご協力頂きました方々に心から厚く御礼申し上げます。さすが聖母の騎士達でした！

《M・T》



金祝記念ミサで特大の花束を戴く押川司教様



# イギリス便り 平和で安全な 世の中を祈って…

奄美支部 勸倫太郎

同窓会の皆様、お久しぶりです。皆様  
いかがお過ごしでしょうか？

家族の数が増えてから毎日、育児、  
家事、仕事に追われ、時間が過ぎてい  
く早さに驚いています。先月には、家  
を引っ越したり、長男の短期入院が  
あったりと、少し疲れたのでしよ  
うか、帯状疱疹を患ってしまい、職場か  
ら離れなければなりません。そ  
して、おそらく私の帯状疱疹から、長  
男と長女が水ぼうそうに罹ってしま  
いましたが、やっと回復したところで

さて、今年は、あまりにも多くの出  
来事あり、どれについて書こうか迷う  
ところです。私の住んでいるウエール  
ズでは、去年の夏に開催された欧州  
サッカー大会 (EURO 2016) がとて  
も印象的でした。ウエールズ代表チー  
ムが、国際的な大きな大会に参加する  
のは、58年ぶりでした。優勝候補のベ  
ルギーを破り、準決勝まで進んだのに  
は、本当に驚きました。ウエールズ全  
体がお祭り騒ぎになりました。ウエー  
ルズの国歌を、パブで聞いたときには  
鳥肌が立ちました。  
しかし、最近では、残念ながら悲し

いニュースばかりです。ロンドンで  
は、テロリストによる一般人を狙った攻  
撃が幾つかありました。特に、マン  
チェスターでの自爆攻撃はコンサート  
を終えた若者たちが、標的にされ多く  
の方々が犠牲になりました。マンチェ  
スターは、私の住んでいる北ウエール  
ズから、車で約1時間半の都市で、数  
年前までは、友達を訪れたり、買い物  
に行ったりしていたので、テロ攻撃を  
少し身近に感じた事件でした。

今月6月には、総選挙が英国では、  
実施されました。メイ首相は、総選挙  
を行うことに決めた理由として、野党  
による英国 EU 離脱の交渉が不安定  
になることを避ける為との事でした。  
しかし、英国メディアは、国民が高い  
割合で保守党を支持している事が世論  
調査で明らかになり、メイ首相は恐ら  
く、首相という地位を固めようとした  
のではないかと予想されています。

結果は、保守党が勝利しました。で  
も、保守党は13議席失い、単独過半数  
ではなくりました。しかし、保守党は  
まるで選挙に負けたかの様子で、負け  
た側の労働党は、選挙に勝利したよ  
うに喜んでいきます。保守党は、DUP  
(民主統一党・北アイルランドの地域  
政党)と共に連立政権を立てるだろ  
うと、予想されています。

労働党が、総選挙で票を得た要因の  
一つは、若者たちでした。大学の学費

免除や、核兵器使用の反対を唱える  
コービン党首は、教育や環境問題に対  
して敏感な若者たちから、とても支持  
されました。(英国では、首相が核兵  
器の使用を躊躇するような発言をすれ  
ば、弱いリーダーとして批判され  
ることが通常です。そのため、コービ  
ン党首が、一度公に核兵器を使用する  
ことに、少し悩むと発言したときは多  
くのメディアから批判されました。)

その他にも、コービン党首は、近年  
の労働党とは違い、とても社会主義的  
政策を唱えました。保守党政府の緊縮  
財政の終わり、鉄道の国営化、国家医  
療制度 (NHS) への支出の増加など  
でした。私のような医療に携わる人た  
ちは、高齢化社会と生活習慣病患者の  
増加に伴い、どんどん患者の量が増え  
る一方で、政府で緊縮財政方針のため  
にコスト削減などで、十分なサポート  
を国から受けていないと不満があり、  
労働党の公約に魅了的を感じたよう  
です。

その一方で、保守党は、緊縮財政の  
継続を主張しました。医療制度に関し  
ては、支出を抑える代わりに、看護師  
や医者の仕事を増やし医療現場のプ  
レッシャーを減らすと公約しました。  
しかし、特に私が住んでいる田舎で  
は「BREXIT(英国 EU 離脱)」の為に、

ヨーロッパからの看護師さんや医者  
さんが減り、人手不足で悩んでいるの

聖母の騎士学園同窓会 (奄美支部役員名簿)			
会長	近藤 芳 弥	副会長	配山 尚 幸
会計	山田 明		大茂 卓 郎
事務局	田下三佐男	副会長	押川 尚 樹
会計監査	押川 文 隆		安田 孝 春
		白石 信 録	池田 尚 志
顧問	松永正男神父 / 内野洋平神父		
	アンドレ金神父		
	田下幸次 / 久保聖一		

で、どのようにそれを解消するのか具  
体的な策は、ありませんでした。

最近の英国は、BREXITやテロ攻  
撃などで、少し不安定な感じがしま  
す。特に、BREXITによって、英  
国が二つに分かれてしまった、とも  
言われています。北アイルランドで  
は、未だに警察官が、テロリストに  
よって攻撃される事件が幾つかあり  
ました。そして、この原稿を書い  
ている間に、今度はイスラム教徒を  
狙ったテロ攻撃がありました。とても  
残念で仕方がありません。このよう  
な、複雑な問題には一体どんな解決策  
が必要なのでしょう？ 平和で安全  
な世の中であってほしいと祈るばかり  
です。

同窓会の先輩、後輩の皆様のご健康  
を遠くからお祈りいたします。



●同窓会奨学生

今年の採用は1名です。理由は保護者の失職によりです。同窓会奨学金用の基準は、「成績ではなく、家庭の経済状況を第一とし、特に、他の生徒の模範となるもの」です。年間6万円を支給し、返還の義務はありません。

●29年度学年理事

出口 椋君。現在、県内の大学進学を目指しています。

●三二便り

▼「マリア様の像が綺麗になりました。」良かったですね。小生の所属する鹿嶋教会にも、やっとマリア像が建立されることになりました。聖母の騎士での挨拶は、「マリア！」でしたよね。 鹿嶋市 田辺久義

▼いつもありがとうございます。今年はお陰様で中学校の同級生とも会う事が出来、嬉しかったです。今後も皆様方のご活躍を祈念します。 堺市 竹口良巳

▼+ 会費が大変遅くなってすみません。よろしく願います。 大島郡 森永勇作

▼「英彦の泉」20号ありがとうございます！10周年を盛大に迎えられた奄美支部の皆さん、おめでとうございませす。同窓生皆様の情報や、「学園便り」など、充実した編集にいつも感謝しています。 寝屋川市 萩原儀一

▼遅くなって申し訳ありません。払い込みを失念しておりました。よろしくお願いたします。 福岡市 吉村慎仁郎

▼毎年楽しく読んでいます。 五島市 浜崎清治

▼すばらしい「英彦の泉」ありがとうございます。 川崎市 立石広海

▼女子入学は難しいでしょうか。聖母の騎士学園が存続しますように心からお祈りしています。 長崎市 嶋 拓朗

▼懐かしい神父さんや同窓生の訃報に接し、悲しいはずですが、思い出すのは楽しいことばかりです。聖母の騎士は、何かが違います。 桶川市 斉藤 優

▼「英彦の泉」の会報、いつも有難うございます。松山公利は、5月に永眠いたしましたので、ここにお知らせいたします。これまでに賜りましたご厚情、深く感謝いたします。本当にお世

話になりました。皆様、時節柄ご自愛の程お祈りいたします。 名古屋市 松山富美枝

▼この金額は昨年度も含めてあります。最近家を整理していたら出てきました。遅くなってすみません。 長崎市 水口 透

▼英彦の泉、今年も感謝です。美しくなったマリア様に会えるといいな…。 鹿嶋市 平松 弘

▼英彦の泉が届きましたが、同窓会に入るかどうか、まだ決めていませんので？よろしく願います。 西宮市 金井弘司

▼お世話様です。会費を納入します。 本部修道院 松尾豊樹

▼10,000円は、同窓会で使ってください。 長崎市 坂谷光雄

▼僅かですが、役立ててもらえればと思います。 長崎市 境 航平

▼遅くなり申し訳ございません。皆様お元気でしょうか。富山からお祈りしております。 富山市 永栄恵太(母)

▼「英彦の泉」いつもありがとうございます！ 諫早市 山内春治

▼20周年記念号、楽しく読ませてもらいました。きれいになったマリア様の塗装代に少し上乗せして送ります。 鎌倉市 平松壽護

聖母の騎士学園同窓会 (本部役員名簿)

会 長	赤本喜代次		
副会長	窄口 富行	顧 問	崎 濱 宏 美
	大石 諭		木場田友次
書 記	小島 正人	会計監査	松 下 昭 征
事務局	熊川 武俊	会 計	赤 尾 城 司
理 事	里脇岩男／竹内松雄／松本 修		
	滝元 敦／川村隆公／峰 徹		
	宮城信愛		

校長先生、司祭叙階50周年です。

長年、母校の校長、そして同窓会の顧問を務めておられる崎濱宏美神父様が、今年司祭叙階50年を迎えられます。同窓会では、総会時にそのお祝いを計画しています。ぜひ、沢山の参加をお願いいたします。また、出席できない方や遠隔地にお住いの方にはお祝いのメッセージを頂けたらと思います。メッセージは、「会費振込用紙」・email、または、FAXでお願いいたします。

●熊川メール:toshi\_dominic\_kumagawa@yahoo.co.jp



### 平成28年度 決算報告書

摘要	収入	支出	残高
繰越金(郵貯)	693,406		
繰越金(現金)	116,415		809,821
マリア像塗装寄付	248,400		
会費	219,000		
寄付	128,000		
懇親会費	54,000		
同窓会入会金	54,000		
同窓会誌販売	1,500		
御ミサお礼		10,000	
寄付お礼		2,970	
卒業記念品代		17,100	
マリア像塗装費		248,400	
「英彦の泉」印刷代		213,840	
クラブ援助費		30,000	
奨学金		60,000	
ピオ神父、献花代		15,000	
植木剪定費		14,108	
会報送料		60,192	
通信費		4,626	
会議費		810	
同窓会懇親会費		46,142	
振込用紙印刷代		2,602	
会報送付用封筒		8,723	
	1,514,721	724,513	790,208

### 平成29年度 予算計画書

摘要	収入	支出	残高
繰越金(郵貯)	516,964		
// (現金)	273,244		787,208
29年度卒業生入会金	63,000		850,208
年会費	200,000		1,050,208
寄付	100,000		1,150,208
奨学金		60,000	1,090,208
封筒		9,000	1,081,208
会報郵送料・通信費		5,000	1,076,208
卒業記念品		21,000	1,055,208
御ミサお礼		10,000	1,045,208
雑費		30,000	1,015,208
会議費		5,000	1,010,208
「英彦の泉」印刷費		250,000	760,208
学園劇援助金		50,000	
合計	1,153,208	440,000	713,208

### 平成28年度 同窓会会費納入協力者

本部理事会では、会費収入減の現状を知っていただくために、反対意見もありましたが、あえて28年度の会費納入者氏名を掲載させて頂きました。掲載されなかった方の中には、これまでは納入してきたが、たまたま今年度のみ納入されていない方もいらっしゃると思います。その場合はご容赦願います。また、28年度は、75名の方が協力して下さいましたが、これは会員の10%も満たしていないのが現状です。出来る限りのご協力をお願いしたいと思います。

S24Ⓞ 高見正明	S27 濱田盛雄	S28Ⓞ 白浜 明	S30 山内春治
S31 平松 弘	S32 岡 信夫	S32 吉川信雄	S32 白浜雪義
S32 木場田友次	S33 藤澤幾義	S34 崎濱宏美	S34 田辺久義
S35 杉山宣明	S35 萩原儀一	S35 平松壽護	S35 高串錦洋
S36 坂谷光雄	S36 水口 透	S36Ⓞ 齊藤 優	S37 松崎好弘
S38 松下昭征	S38 泊 秀信	S38 立石広海	S38Ⓞ 泉 治彦
S39Ⓞ 里脇岩男	S40 松山公利	S41 磯辺浪男	S41 池田健二
S43 山下公輝	S43 櫻本好美	S43Ⓞ 里脇 豊	S43Ⓞ 竹口良己
S44 大石 諭	S44 田下幸次	S44 濱崎清治	S44 森 仁
S46 恵幸一郎	S47 町田良二	S48 吉原雅人	S50 熊川武俊
S50 山田 明	S50 小島正人	S52 峯 重昭	S53 竹内昭彦
S53 吉川 信	S54Ⓞ 久留幹生	S56 阿部正人	S58 水浦 学
S61 山村幸雄	S61 平 孝之	S63 徳 誠司	H1 熊川博昭
H2 内藤 淳	H2 平良真哉	H3 松尾豊樹	H3 水谷紀輔
H4 森永勇作	H6 城山善之	H7 宮川 崇	H7Ⓞ 井上哲朗
H8 吉村慎仁郎	H9 宮本龍平	H14 励倫太郎	H16 本田 純
H20 宮崎雄太	H20 滝元 敦	H21 嶋 拓朗	H23 深水晴紀
H23 吉田忠巧	H24 境 航平	H24 永栄恵太	H26 堀切義光

卒業年不明 金井弘司

#### 【寄付を頂いた方】

S32 木場田友次	S33 藤澤幾義	S33 田辺久義	S35 萩原儀一
S35 平松壽護	S36 坂谷光雄	S36 水口 透	S38 松下昭征
S39Ⓞ 里脇岩男	S42 赤本喜代次	S45 窄口富行	S46 恵幸一郎
S52 峯 重昭	S61 平 孝之	H2 内藤 淳	奄美支部



**29年度 お知らせ**  
**総会・懇親会**  
**10月28日 土 開催**

**会場 コルベ記念館ホール**  
御ミサ 16時00分～(コルベ志願院)  
総会 17時00分～、親睦会 18時00分～

**会費 3,000円** { 修道会会員は招待、  
崎濱校長先生の金祝のお祝いもあります }

参加お申し込みをされる方は、別紙申込用紙を FAX か郵送していただくか、下記メールアドレス(熊川)に御連絡下さい。

**FAX: 095-823-4759**  
**Eメール: toshi\_dominic\_kumagawa@yahoo.co.jp**

# 生徒募集

## ■一般生

- ★1学年1クラスの少人数教育。
- ★学力が高い生徒のために進学コースを設置。実力をアップして上級学校への進学を目指します。

- 1 年生:「センター試験対策コース」
- 2・3年生:「国公立大学進学コース」

## ■校内特待生制度

- ★成績優秀な生徒には特待生制度により奨励金を支給しています。



## ■神学生(聖コルベ志願院 ☎095-828-0541)

- ★コンベンツアル聖フランシスコ修道会の神父を目指します。祈りに始まり祈りに終わる生活で信仰を深め、キリスト教指導者になるための知識・教養を身につけます。
- ★高校卒業後は一般の大学で神学以外の専門知識を身につけた後、上智大学神学部へ編入して司祭を目指します。このため高い教養を身につけることが要求されます。
- ★神学生の授業料・生活費は修道会より支給されます。

オープンスクールを開催します。  
10月14日 土曜日  
お気軽にご来校ください。

※学校見学会は以下の日程で行います。  
9月16日、9月30日、  
11月4日、11月18日、12月16日  
(全て土曜日です)

## 聖母の騎士高等学校

〒850-0012 長崎市本河内2-2-2 ☎095-823-4523  
ホームページ <http://www.seibonokishi-2008.jp/>

# 編集後記



昨年10月と今年1月に、各6万円と手紙入りの現金書留が京都から届きました。以下は、その手紙の全文です。

ようやく秋らしい爽やかな風を感じるこの頃でございます。

突然お便りいたしますが、息子が貴校にお世話になった者の母でございます。息子に代わりお手紙させて頂いております。

先日、英彦の泉を拝読させて頂き、息子が申しますには、今まで落ちて読んでいなかったが、奨学金の事を目にして、僅かですがお手伝いしたいと申しまして、些少ですが送らせて頂きます。本人が書くべきところですが、本日に毎日一生懸命仕事に励んでおりますので、代わりを頼まれました。失礼の段、お許しくださいませ。

末筆ですが、故博多屋先生、故阿野先生、沢山の先生方にお教えて頂きました事、心から感謝致しております。

貴校のご発展を、心からお祈り致しております。

感謝のうちに。  
2016年10月26日 内藤淳(母)

各地で雪の被害が聞かれますが、長崎の方は如何でしょうか。いつも母校の為に尽力頂いておりますこと、心より感謝して

おります。

さて、本日は、受験シーズンとなりましたので、早めに送金させて頂いた方がお役に立ちやすいかと思い、時期を早める事に致しました。  
些少ですが、お使い頂きますよう、お願い致します。

2017年1月26日 内藤淳(母)

同窓会本部では、運営費不足に伴い、今後の長期活動を踏まえ、活動範囲を「英彦の泉」発行と「奨学金」に絞ることを決定した矢先にこの「善意」を頂き、理事会では驚きと感謝の言葉が行き交いました。昔はやった言葉で言うと、「なんも言えねえ」と言ったところでしょうか。その善意の人は、平成2年度卒業で現在45歳ですから、恐らく高校生くらいのお子さんを持つ父親になっている年代でしょうし、子育ての真つ最中で色々大変な時期ではないかと推測されます。そんな中、同窓会の趣旨に目を向けてくれるとは！感謝という言葉だけでは表現出来ないものがあり、本当にありがたいと思います。

話は変わりますが、今年3月末で小島先生と私は、めでたく定年退職いたしました。しかしながら、家庭内外から、「まだ働けー！」という大きな声に負け、4月から再雇用で頑張らせて頂いております。という事で、あと暫くは学校にお世話になります。それにしても、本当に、あつという間の30数年でした。  
(くまがわ)